

第4回

医療分野における革新的な功績を顕彰する

「イノベーター・オブ・ザ・イヤー」

<共催>

一般社団法人日本病院会
公益社団法人地域医療振興協会
MSD 株式会社

<後援>

公益社団法人日本医師会
日本医学会
公益社団法人全日本病院協会

「イノベーター・オブ・ザ・イヤー」について

「イノベーター・オブ・ザ・イヤー」は医療分野におけるイノベーターを顕彰することを目的として2014年に創設された賞です。

本賞は、日本の健康・医療政策の推進及び健康寿命の延長に多大な貢献が期待される業績を上げた個人を対象とし、臨床研究、基礎研究及びトランスレーショナルリサーチ等における革新的な研究成果を顕彰します。選考にあたっては、当該研究がもたらす成果により人々の健康が大幅に増進することができるかどうかという点に着目し、医療にまつわる諸問題の新しい解決法の発見、積年の課題に対する革新的な取り組みの具現化、医療現場における業務の飛躍的な進歩を可能にした取り組み、医療政策の実現に向けた革新的な活動等を含めた幅広い観点から検討を行います。

本賞はまた、その選考過程を通じて、日本の科学技術力が世界中の患者さんを救う目的に活用できることを改めて確認し発信していくことも意図しています。

顕彰は、全国から寄せられた候補者の中から、独立した審査委員会による厳正なる審査により選考されます。本賞の審査基準は、例示すると以下の通りです。

- 新しい治療に道を開く等、人々の健康に多大な恩恵をもたらす、科学的に極めて重要な研究結果を見出したこと
- メディカルサイエンスの研究開発において継続的に卓越した業績を築いていること
- AI等新たな技術の活用等、新たな診療のあり方、医療サービス等の開発の礎となる発見、若しくは医学の飛躍的な進展につながる研究、教育又はその実現につながる業績を上げたこと
- 公衆衛生の向上につながる予防・診断・治療分野での画期的な解決法を見出したこと
- 介護・福祉分野等において、新しい考え方や革新的な形態で諸活動を行い、その成果を上げていること

広い意味で医療に関係する限りにおいて、その活動分野に特段の制限はありません。臨床及び基礎医学、トランスレーショナルリサーチ、予防医学、看護学、介護学分野等の研究者、医師、看護師、介護士、ヘルスケア産業従事者等、職種にかかわらず、その卓越した知識や活動が医療科学の進展を促し、人々の健康に大きな恩恵をもたらす成果を上げた個人が対象となります。

なお、候補者の推薦にあたり、推薦者以外の第三者による推薦状（様式不問）を添付していただくことができます。推薦状には、受賞者に相応しい功績であることを示す当該第三者による評価及びその理由（論文、学会発表、表彰等）を具体的に分かりやすく記載して下さい。

募集要項

【応募形式】 他者による推薦

【応募締切】 2017年9月15日（金）必着

【応募方法】 E-mail： info@innovator-of-the-year.com

FAX： 03-5404-3814

郵便： 「イノベーター・オブ・ザ・イヤー」事務局宛

〒152-0023 東京都目黒区八雲 2-8-6-205 JL 気付

※推薦用紙はウェブサイト www.innovator-of-the-year.com から

ダウンロードしていただくか、事務局までお問合せ下さい。

※電子データ（E-mail）による応募が推奨されます。

選考結果発表

10月中旬に推薦者及び受賞者に通知します。

第4回授賞式

2017年12月13日（水）午後6時45分～

於）ザ・キャピトルホテル東急「鳳凰」

正賞・副賞

記念杯を受賞者本人に授与します。

また、副賞として賞金1,000万円を、受賞者が所属する組織等に贈呈します。

（受賞者個人に対して直接副賞を授与することはいたしません。なお、副賞の贈呈にあたっては、法令、寄附に関するMSD株式会社のポリシー及び製薬業界の自主規制等が適用されるため、副賞が贈呈できない場合があります。）

第1回受賞者

間野 博行 東京大学大学院医学系研究科 細胞情報学分野 教授

【推薦者：中釜 斉 国立がん研究センター研究所 所長】

第2回受賞者

武藤 真祐 医療法人社団鉄祐会 理事長

【推薦者：逢沢 一郎 衆議院議員】

【推薦者：黒川 清 政策研究大学院大学 客員教授】

【推薦者：辻 哲夫 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授】

第3回受賞者

藤堂 具紀 東京大学医科学研究所・先端医療研究センター・先端がん治療分野 教授

【推薦者：宮園 浩平 東京大学大学院 医学系研究科長・医学部長】

（※所属・役職は、受賞当時の名称を記載）